

(学校用)

様式 A-1

平成 24 年 2 月 17 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名)・担当者氏名: 静岡県立磐田南高等学校 ・ 山村 京子 _____

2. 参加研究者: Dr. Jean-Daniel COMPAIN

3. 同行者氏名: なし

4. 実施日時: 平成 24 年 2 月 15 日 (水) 14 :10 ~ 15 : 10

5. 参加生徒: 2 年生 42 人、 ___ 年生 ___ 人、 ___ 年生 ___ 人 (合計 42人)
備考: 2年理数科生徒 _____

6. 講演題目: (英文) “An Introduction to Polyoxometalate Chemistry”
(和文) ポリオキソメタレート of 化学入門 _____

7. 講演概要: ポリオキソメタレートは、(MoO₄)²⁻と(PO₄)³⁻の基本的な原子団のブロックを様々な形に組み立てて合成される巨大分子である。1826 年にベルセリウスが合成して以降、現在では 300 種類を超える立体構造が知られている。また、そのブロックを一つ取り去りそこに鉄イオンなどを付加すると、また形の異なる分子ができる pH を変化させると立体構造が変わることも特徴的である。この分子は非常に美しく、様々な形のポリオキソメタレートを合成することは、アートの世界とも見なせる。工学、医学、生物学など多岐にわたる分野に応用できる可能性がある。

フランスの紹介

8. 使用言語: 英語 _____

9. 講演形式:

(1) 講演時間 40 分 質疑応答時間 20 分

(2) 講演方法

_____ プロジェクター使用による講演 _____

(3) 通訳

_____ 受け入れ研究者によるサポート なし _____

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

_____ 専門用語や中村研のホームページの一部を印刷して1週間前に配布。 _____

10. 学校からの支給経費: 交通費 宿泊費 謝金

10. その他特筆すべき事項: